

湯浅町の結果について

はじめに

平成31年4月18日（木）、小学6年生・中学3年生を対象に全国学力・学習状況調査が行われ、町内のすべての小・中学校が参加しました。湯浅町内小・中学校における学力・学習状況調査の結果をお知らせします。

まず、文部科学省は、本調査の目的を以下のように示しています。

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

湯浅町教育委員会では、これまでの取組の成果や課題を検証するとともに、学力がさらに向上するためには何が必要かを考え、以下のような様々な取組をすすめています。

- 町内各小・中学校の学力の状況を把握するため、全国学力・学習状況調査に加えて、独自の標準学力調査（小学校全学年、中学校1・2年）を実施
- 学校訪問による授業改善等に関わる指導・助言
- 各小・中学校の学力の状況や学力向上を推進する取組の交流や町としての今後の取組の方向性についての協議等を行う学力向上推進委員会の開催

各小・中学校においても、以下のような取組を進め、教員の授業力向上を図るとともに、学習指導の一層の充実や、課題の改善を日々すすめています。

- 教員一人一人が、全国学力・学習状況調査をはじめ、町独自の標準学力調査や県の学習到達度調査などから児童生徒一人一人の学習状況の的確な把握
- 学校全体でめざす方向性を共有し、学力向上を推進するためのPDCAサイクルの確立
- 校内研修や校内授業研究の充実
- 授業の管理職参観や教員相互参観
- 強みをさらに伸ばしたり課題の見られるところを学び直したりする基礎学習や補充学習の充実
- 自主的な学習態度の定着を図る家庭学習の充実

なお、文部科学省は、「調査により測定できるのは、学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなども踏まえる」ことも明示しています。調査の結果から、これまでの取組の成果や課題を分析して今後の学習指導の改善に活用することはもちろん、調査の結果が学力のすべてを表しているとは限らないということもきちんと認識しながら、児童生徒の「ほんもの」の学力を多面的・多角的にとらえ、教育の一層の充実に努めてまいります。

問題について

国語と算数・数学では、昨年度まで、

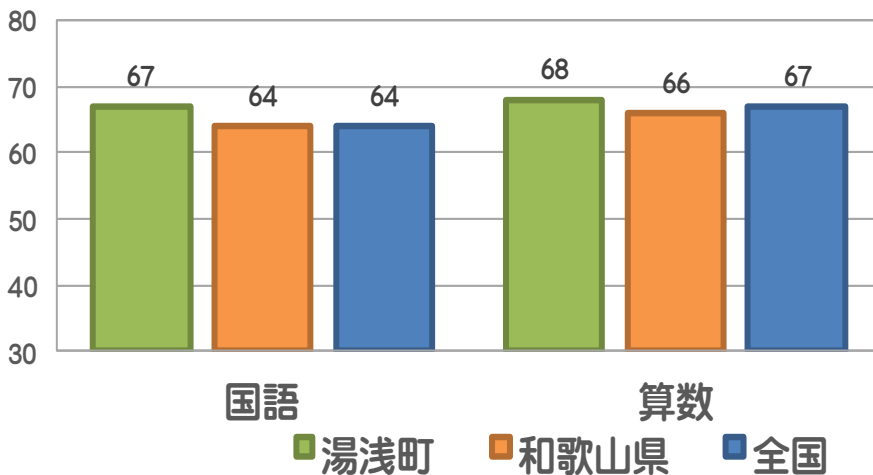
- ・「A問題」(主として「知識」に関して、基礎的・基本的な力がどれくらい身に付いているのかをみる問題)
- ・「B問題」(主として「活用」に関して、学習した内容を実生活の中で活用する力がどれくらい身に付いているのかをみる問題)

に分かれていましたが、今年度より、**A問題・B問題が統合された問題**となっています。

また、今年度新たに実施された中学校英語の問題については、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと」に分かれた問題となっており、結果については「話すこと」を除いた結果となっています。

小学6年「国語」「算数」の結果

湯浅町全体の傾向 平均正答率

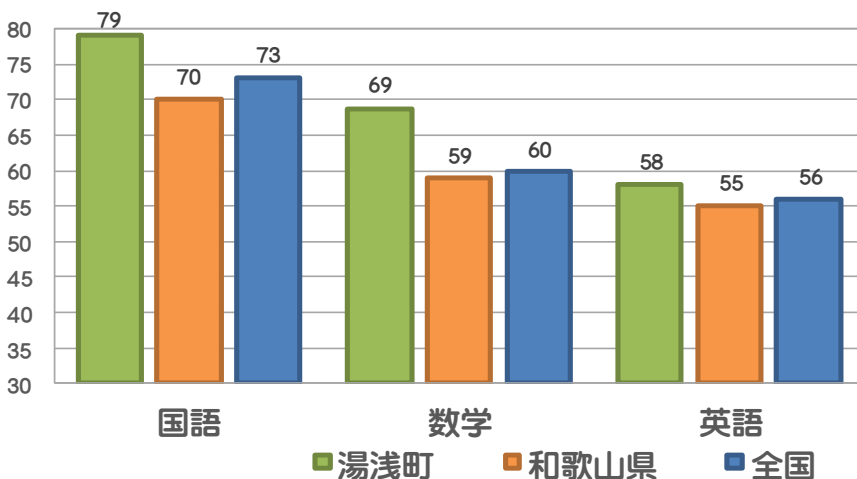


全国や和歌山県の平均正答率と比べて、国語・算数ともに上回っています。着実に学力が身につけてきています。

また、無答率についても、国語・算数ともに、全国・和歌山県の無答率に比べてかなり低く、最後まで粘り強く取り組んでいる様子もうかがえます。

中学3年「国語」「数学」「英語」の結果

湯浅町全体の傾向 平均正答率 (%)



全国や和歌山県の平均正答率と比べて、国語、数学で、大きく全国平均正答率を上回り、英語でも上回っています。基本的な学力の定着がみられ、活用力の向上もみられます。

また、無答率については、すべての調査において全国・和歌山県の無答率に比べてかなり低く、最後まで粘り強く取り組んでいる様子もうかがえます。

小学6年 「国語」の傾向

全国平均正答率との差 (%)	国語
国語への関心・意欲・態度	◎+3.1
話す・聞く能力	◎+6.6
書く能力	-2.6
読む能力	+2.0
言語についての知識・理解・技能	◎+6.7

◎3%以上高い ▼3%以上低い

小学校国語 全国平均正答率と比較して

◎特によい結果がみられた問題

○話す・聞く能力

- ・「目的に応じた質問の工夫として適切なものを選択する」問題
- ・「話し手の意図を捉え、自分の考えを書く」問題

○読む能力

- ・「知りたいことを調べるといった目的に応じて、目次の一部から文章全体を概観し、読むページとして適切なものを選ぶ」問題

○言語に関する知識・理解・技能

- ・「漢字を文の中で正しく使う」問題
- ・「ことわざの使い方として、適切ね物を選ぶ」問題

～漢字の正答率～

「対象」33.3% (全国41.9%)

「限らず」87.8% (全国69.4%)

「関心」46.7% (全国35.6%)

▼特に課題がみられた問題

●書く能力

- ・「調べたことを報告する文章で、資料をどのような目的で用いているかを選ぶ」問題
- ・「調査の内容と結果から、分かったことをまとめて書く」問題

●言語についての知識・理解・技能

- ・「漢字を文の中で正しく使う」問題

小学校「国語」の学習指導にあたって

課題がみられた点を中心に、以下のような指導の充実を図ります。

「言語についての知識・理解」を伸ばす

→ 漢字を書くことについて、文章の中で使ったり、生活場面と結びつけて積極的に活用する場面を想定したりした指導の充実。

「書く能力」・「話す・聞く能力」を伸ばす

→ 読み手や聞き手を意識し、伝えたいことや目的、意図をしっかりともったうえで内容を考えるとともに、分かりやすくするために活用する図表や文字数などの条件を吟味し、それに合うように書いたり話したりする力をさらに伸ばす指導の充実。

「読む能力」を伸ばす

→ 一つ一つの表現に注目しながらじっくりと読み、自分の考えをより深めることができるような指導の充実。

小学6年 「算数」の傾向

全国平均正答率との差（％）	算数
算数への関心・意欲・態度	
数学的な考え方	-0.1
数量や図形についての技能	+1.1
数量や図形についての知識・理解	◎+7.1

◎3%以上高い ▼3%以上低い

小学校算数 全国平均正答率と比較して

◎特によい結果があらわれた問題

○数学的な考え方

- ・「残り7ポール分進むのにかかる時間の求め方と答えを書き、24分以内に到着できるかどうかを判断する」問題

○数量や図形についての技能

- ・「棒グラフから分かることを選ぶ」問題
- ・「たし算とかけ算の混じった整数と小数の計算をする」問題

○数量や図形についての知識・理解

- ・「長方形を直線で切ってできた図形の中から、台形を選ぶ」問題
- ・「 $1800 \div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ」問題

▼特に課題がみられた問題

●数学的な考え方

- ・「ひき算の式が、示された図形の面積をどのように表しているのかを、言葉や数を使って書く」問題
- ・「示された場面において、必要な数を選んで、何秒後にゴンドラに乗れるのかを求める式を書く」問題

●数量や図形についての技能

- ・「2つの合同な図形をずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせて作ることができる図形を選ぶ」問題

小学校「算数」の学習指導にあたって

課題がみられた点について、以下のような指導の充実を図ります。

「数学的な考え方」を伸ばす

- 問題を解決するために、既習事項を活用して考えたり、解決に必要な要素を一つ一つ吟味しながら、考え方や解き方を説明する活動の充実。
- 自分が立てた式や出した答えと、問題文・図・表などと結びつけ、さらに理解を深めることができるような指導の充実。

「図形や数量についての技能」を伸ばす

- 数学的活動のより一層の充実。
- 数学的な用語を用いて方法や理由を説明したり、問題文や図などにじっくりと向き合う機会の充実。
- 生活場面で積極的に学習内容を活用する機会の充実。

中学3年 「国語」の傾向

全国平均正答率との差 %	国語
国語への関心・意欲・態度	◎+7.6
話す・聞く能力	◎+8.3
書く能力	◎+8.5
読む能力	◎+5.9
言語についての知識・理解・技能	+1.2

◎3%以上高い ▼3%以上低い

中学校国語 全国平均正答率と比較して

◎特によい結果があらわれた問題

○話す・聞く能力

- ・「話し合いにおける発言の役割や発言の内容について、適切なものを選ぶ」問題
- ・「話し合いの流れをふまえて、「どうするか決まっていないこと」について、自分の考えを書く」問題

○書く能力

- ・「文章の展開にふさわしい、意見文の下書きに加える言葉として、適切なものを選ぶ」問題
- ・「広報誌の一部にある情報を用いて、意見文の下書きに具体例を書き加える」問題

○読む能力

- ・「新聞記事に書かれている弁当の魅力として、文章の展開に即して適切なものを選ぶ」問題
- ・「掲載された短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く」問題

○言語についての知識・理解・技能

- ・「語の一部を省略した表現について、話や文章における活用方法を適切に説明したものを選ぶ」問題

▼特に課題がみられた問題

●言語についての知識・理解・技能

- ・「封筒に相手の名前と住所を書く」問題

中学校「国語」の学習指導にあたって

課題がみられた点について、以下のような指導の充実を図ります。

「言語についての知識・理解・技能」を伸ばす

- あらゆる機会を捉えて、様々な「書く」機会を設け、生活の中で活かしていこうとする態度を身に付けられるような指導の充実。

「書く能力」「話す・聞く能力」を伸ばす

- 目的や意図、文章の展開に応じて発言したり、要点を押さえながら意見を聞いたり、文章を推敲して書いたりするなど、分かりやすく伝える・伝わるための様々な条件について一つ一つ確実に押さえながら、表現する指導の充実。

「読む能力」を伸ばす

- 文章全体を捉えながらその中の一つの表現の意味を捉えるなど「読み方」に重点を置いた指導の充実。

中学3年 「数学」の傾向

全国平均正答率との差（％）	数 学
数学への関心・意欲・態度	
数学的な見方や考え方	◎+7.8
数学的な技能	◎+12.8
数量や図形などについての知識・理解	◎+8.9

◎3%以上高い ▼3%以上低い

数学 全国平均正答率と比較して

◎特によい結果があらわれた問題

○数学的な見方や考え方

- ・「ヒストグラムの特徴を基に、示された考えが適切ではない理由を書く」問題
- ・「連続する5つの奇数の和が中央の奇数の5倍になることの説明を完成させる」問題
- ・「連続する4つの奇数の和がどのような数になるのかを選ぶ」問題

○数学的な技能

- ・「連立二元一次方程式を解く」問題
- ・「反比例の表から、 x と y の関係を式で表す」問題

○数量や図形などについての知識・理解

- ・「 a と b が正の整数のとき、計算の結果が正の整数とは限らないものを選ぶ」問題
- ・「証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を書く」問題
- ・「読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数と最頻値を求める」問題

▼特に課題がみられた問題

●数学的な見方や考え方

- ・「図書だよりに書かれている「分かったこと」の根拠となる値として適切なものを選ぶ」問題

中学校「数学」の学習指導にあたって

課題がみられた点について、以下のような指導の充実を図ります。

「数学的な見方や考え方」を伸ばす

- 問題を解決するために、どんな根拠が必要であるかを判断したり、根拠となりうる複数の要素について、何が問われていることに当てはまるのかを一つ一つ丁寧に判断したりする指導の充実。
- グラフやヒストグラムから分かることについて、その根拠を数学的用語を用いて説明する活動の充実。

中学3年 「英語」の傾向

全国平均正答率との差（％）	英語
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	
外国語表現の能力	-0.7
外国語理解の能力	▼-3.8
言語や文化についての知識・理解	◎+5.4

◎3%以上高い ▼3%以上低い

英語 全国平均正答率と比較して

◎特によい結果があらわれた問題

○言語や文化についての知識・理解

- ・「英語を聞いて、情報を正確に聞き取り、最も適切に表している絵を選ぶ」問題
- ・「簡単な英文で書かれた内容を正確に読み取り、適切な語句や絵、英文を選ぶ」問題
- ・「与えられた英語を変形させたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を書く」問題
- ・「与えられた情報を基に、ある女性を説明する英文を書く」問題
- ・「文中の空所に当てはまる接続詞を選ぶ」問題

▼特に課題がみられた問題

●外国語表現の能力

- ・「ピクトグラムの中の2つの案を比較し、どちらがよいか理由とともに意見を書く」問題

●外国語理解の能力

- ・「まとまりのある英語（天気予報）を聞いて、必要な情報（ピクニックに最も適切な曜日）を選ぶ」問題
- ・「音声メッセージを聞いて、アドバイスを書く」問題
- ・「まとまりのある文章を読み、書き手が最も伝えたい内容を選ぶ」問題

●言語や文化についての知識・理解

- ・「文中の空所に当てはまる接続詞を選ぶ」問題

～接続詞の問題の正答率～

「if」を当てはめる問題

→87.8% (全国79.9%)

「but」を当てはめる問題

→48.9% (全国58.2%)

中学校「英語」の学習指導にあたって

課題がみられた点について、以下のような指導の充実を図ります。

「外国語表現の能力」を伸ばす

- 学習した英語表現を用いて、自分の意見やその理由を書いたり、発表し合ったりする活動の充実。
- 即興的に英語で話す機会の充実。

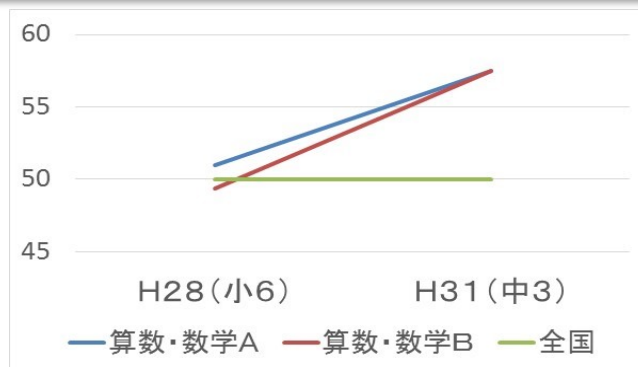
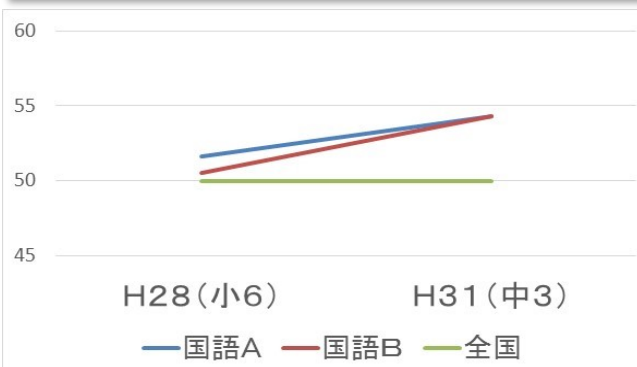
「外国語理解の能力」を伸ばす

- まとまりのある文章を聞いたり読んだりする機会を充実させ、ある程度長い英語の文章の内容を理解したり、自分の考えを話したり書いたりする言語活動の充実。

「言語や文化についての知識・理解」を伸ばす

- 文の流れや文意をていねい押さえ、前後をつなぐ接続詞について理解する指導の充実。

H28（小6）とH31（中3）の結果を比べて



上のグラフは、中学3年の平均正答率を、小学6年時（平成28年度）と比べたものです。全国平均正答率を50（緑色の線）の基準値とし、結果を算出しています。小学6年時は国語・算数ともにA・B問題に分かれていたため、中学3年時は統合されたものとして結果を示しています。

- 「国語」＝ 小6時、中3時ともに全国平均正答率を上回っていますが、上回り具合がさらに大きくなっています。
- 「算数・数学」＝ 小6時にはA問題で全国平均正答率を少し上回り、B問題は下回っていましたが、中3時には全国平均正答率を大きく上回り、かなりの伸びを見せています。

☆ 国語、算数・数学ともに、小学校から地道に積み重ねてきたことが、中学校の取組でよりいっそう満足できる結果として出た形です。このように、義務教育9年間の系統性をもたせ、学年ごとの指導の重点を明確にしながら、「何を学んだか」「何を身に付けたか」を意識した取組を今後も進めていきます。

児童質問紙調査・生徒質問紙調査の結果から

学習意欲、学習方法、学習環境、生活習慣等について、アンケート形式で答える質問です。

（例えば）勉強は好きか、授業の内容はどのくらい分かるか、授業における取組の意識、

就寝時間や起床時間、読書や勉強の取り組み方、規範意識 など



小学6年の結果から

地域とのかかわりや自主性・協調性について

地域の行事への参加や外国の人に知ってもらいたい気持ち、地域との関わりについて前向きな回答が高くなっています。意欲的に地域学習に取り組み、地域の方々と関わっている様子うかがえます。

「自分には、良いところがあると思いますか」については全国平均を下回り、自己肯定感をさらに育むことが課題と言えます。

授業の話し合いにおいては、自分の意見を話したり友達の意見を聞いたりすることを積極的に行いながら自分の考えが深まったという実感をもてていることが分かります。また、学校生活や行事に協働的に取り組み、それらの活動を通してうれしさを感じられる機会に恵まれていることも分かります。協働的な活動の中で協調性を伸ばしている様子うかがえます。

「計画的に勉強」については、全国平均正答率を上回り、前向きな回答が増加しています。ここでも、自主的に学習に取り組もうとする姿勢が身に付いてきている様子うかがえます。

中学3年の結果から

地域とのかかわりや自主性・協調性について

地域の行事への参加や外国の人に知ってもらいたい気持ちについては前向きな回答が多いですが、地域のために考えるという面では「あまり当てはまらない」割合が高いです。今後も地域学習を充実させ、地域との関わりをより強く実感しながら、能動的に取り組めるようにしていく必要があります。

「自分には、良いところがあると思いますか」では全国平均をかなり上っており、日ごろから意欲的に取り組み、生徒たちが自信をもって学校生活を充実させている様子うかがえます。

授業や行事などを通して、友達との意見交流等を積極的に行い、自分の考えが深まった・広がった、あるいはうれしさを感じられたという実感を強くもっている様子うかがえます。

「計画的に勉強」については、全国平均を大きく上回っています。ここでも、自主的に学習に取り組もうとする姿勢がうかがえます。

「小学6年」の結果

質問項目	湯浅町	全国	差
今住んでいる地域の行事に参加していますか	71.1	68.0	3.1
地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか	55.5	54.5	1.0
日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか	80.0	76.1	3.9
自分には、良いところがあると思いますか	76.7	81.1	-4.4
学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか	90.0	84.1	5.9
学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	82.3	74.1	8.2
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	77.8	81.2	-3.4
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	86.6	92.0	-5.4
朝食を毎日食べていますか	93.3	95.3	-2.0
家で、自分で計画を立てて勉強していますか	74.5	70.5	4.0
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか *「全くしない」割合	2.2	2.3	-0.1
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか *「全くしない」割合	20.0	18.7	1.3

* 当てはまる、どちらかといえば当てはまると答えた割合

「中学3年」の結果

質問項目	湯浅町	全国	差
今住んでいる地域の行事に参加していますか	54.4	50.6	3.8
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	37.8	39.4	-1.6
日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか	65.6	59.3	6.3
自分には、良いところがあると思いますか	88.8	74.1	14.7
学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか	92.2	82.8	9.4
学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	88.9	72.8	16.1
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	92.2	78.0	14.2
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	95.5	92.8	2.7
朝食を毎日食べていますか	97.8	93.1	4.7
家で、自分で計画を立てて勉強していますか	65.5	50.4	15.1
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか *「全くしない」割合	3.3	4.4	-1.1
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか *「全くしない」割合	27.8	34.8	-7.0

* 当てはまる、どちらかといえば当てはまると答えた割合

家庭での過ごし方について（小学校）

○基本的生活習慣について

「早寝・早起き・朝ごはん」が大切とよく言われます。「決まった時間に就寝する」「決まった時間に起きる」「朝食を毎日食べる」ことについて全国平均を下回っています。「当てはまる」割合は高いですが、「どちらかといえば当てはまる」割合が低く、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」割合が高い傾向です。学力とも相関関係が高いことから、中学校生活に向けても、基本的生活習慣のさらなる定着を図っていくことが重要です。

○家庭学習や読書について

「家で計画的に勉強している」割合が全国平均より高く、平日の勉強の時間についても、「全くしない」割合が全国平均とほぼ同じで、「30分未満」の割合も低くなっています。家庭学習の習慣がよくついていることがあらわれています。中学校生活に向けて良い傾向といえます。

しかし一方で、平日の読書時間については、年々改善傾向がみられるものの、「全くしない」割合が全国平均よりも上回っています。読書習慣をさらに身につけることが課題であることが分かります。

家庭での過ごし方について（中学校）

○基本的生活習慣について

「早寝・早起き・朝ごはん」が大切とよく言われます。「決まった時間に就寝する」「決まった時間に起きる」「朝食を毎日食べる」のいずれも全国平均を上回っており、特に就寝時間の安定が高い数値として示されています。こうした規則正しい生活習慣の定着が学力調査の結果にもよくあらわれていると言えます。

○家庭学習や読書について

平日の勉強時間については、「全くしない」割合が全国平均と比べて低くなっています。また、「計画的に勉強している」割合も、かなりたかくなっています。自主的に家庭学習に取り組む習慣がかなりついている様子がうかがえます。

また、平日の読書時間についても、「全くしない」割合が全国平均と比べてもかなり低くなっています。

学習・読書をはじめとして、こうした家庭で過ごす時間の使い方について、目的意識を強く持って、日々を過ごすことが、学力調査の結果になって表れていると言えます。